

平成 20 年 9 月 12 日

ご投資家の皆様へ

T&amp;D アセットマネジメント株式会社

## 最近の中国株式市場の下落について

### ◆ 足もとの中国株式市場動向

世界的に金融不安が依然として残る中、9 月 10 日の米リーマン・ブラザーズの決算発表で赤字幅が事前予想を上回ったことや再建策が失望する内容であった事などを受け、株式市場のセンチメントは悪化しました。また、9 月 10 日に発表された中国の 8 月の CPI(消費者物価指数)前年同月比の上昇率が 4.9%と事前予想の 5.4%を下回っていた為、市場では引締め緩和への期待感が強まっていましたが、中国人民銀行の周小川総裁が、それを否定したことによる失望感が広がり、株価は大幅に下落しました。この他、H 株(香港上場の中国本土企業株)の配当金に関し、2008 年 1 月 1 日から「法人所得税法」が施行されたことに伴い、非居住者法人投資家に対する免税適用が廃止され、08 年中間期決算から中国企業の配当に対して 10%の配当課税が適用されることが発表されたことも株価の押下げ要因となりました。

こうした環境の下、9 月 11 日の中国本土株式市場が大幅に下落し、それを嫌気した香港上場の中国企業も軒並み下落する展開となりました。

### ◆ 今後の見通し

弊社が設定・運用しております中国株式を投資対象とする「コスモ・中国株厳選ファンド」、「中国株厳選ファンド 3 ヶ月決算型」、につきましては、運用再委託先の国泰君安アセット(アジア)より今後の中国株式市場の見通しについて次のコメントが届いています。

短期的には、世界的な景気後退懸念や金融不安を背景に、引続き中国株式市場の見通しに対して慎重な姿勢を崩していません。しかし、IMF(国際通貨基金)もレポートで示している通り、2009 年には世界経済が緩やかな回復をすると見込まれることから、投資環境の改善が考えられます。中国市場では、健全な経済成長を達成する為、財政・金融政策が引続き実施されると見込まれ、景気刺激策への期待感が高まっています。底堅いファンダメンタルズを背景に、世界景気が回復すると予想している他、中国株が高値から 50%以上下落しており、2006 年と同水準となった魅力的な株価水準などから、中国株式市場への長期的な見通しに変更なく、投資の機会と考えています。

以上

◆ 当社ファンドへの影響

| ファンド名           | 平成 20 年<br>9 月 11 日<br>基準価額<br>(円) | 平成 20 年<br>9 月 12 日<br>基準価額<br>(円) | 騰落幅<br>(円) | 騰落率<br>(%) |
|-----------------|------------------------------------|------------------------------------|------------|------------|
| コスモ・中国株厳選ファンド   | 9,745                              | 9,216                              | ▲529       | ▲5.43      |
| 中国株厳選ファンド3ヵ月決算型 | 7,441                              | 7,037                              | ▲404       | ▲5.43      |

◆ 市況情報

|                | 平成 20 年 9 月 10 日 | 平成 20 年 9 月 11 日 | 騰落率(%) |
|----------------|------------------|------------------|--------|
| 香港/ハンセン指数      | 19,999.78        | 19,388.72        | ▲3.06  |
| 香港/ハンセン中国企業株指数 | 10,491.40        | 10,052.03        | ▲4.19  |
| 香港/レッドチップ指数    | 3,732.28         | 3,552.85         | ▲4.81  |

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、9 月 10 日から 9 月 11 日としています。

|      | 平成 20 年 9 月 11 日 | 平成 20 年 9 月 12 日 | 騰落率(%) |
|------|------------------|------------------|--------|
| 香港ドル | 13.79            | 13.75            | ▲0.29  |

(\*) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値

出所:ブルームバーグ

※文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

※本資料は投資家の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます】

◇ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料・・・上限 3.15%(税込)

◇保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬・・・上限 1.995%程度(税込)

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

◇ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・上限 0.5%

※当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&D アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### ■当社の概要

商 号：T&Dアセットマネジメント株式会社

登録番号：金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 357 号

加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会